

校長室から No13

夢一歩一歩

令和8年 1月 8日

川波 寿雄

1 3学期始業式

1月8日、3学期がスタートしました。2学期の終業式の時にも話した校訓である「忍耐」「希望」と2026年の「丙午」について話しました。

「忍耐」：冬休みの生活を振り返り、校則をしっかり守って生活できましたか。これくらいなら大丈夫に耐える、誘惑に耐える、自分にブレーキをかけることができたか、自分に問い合わせてください。

「希望」：3年生は社会人に、2年生は最高学年に、1年生は後輩が入ってきて上級生になります。校訓に「希望」がありますが、各教科の学習や部活動等で「自分の在りたい姿を具体的に描いてほしい」それは「与えられた役割」に取り組む時にも。まだ具体的に描くことができない人は探し続けてほしい。

2026年は「丙午」、漢字を示して生徒に「なんと読むのか」と問いかけたところ一人の生徒が「ひのえうま」と答えてくれました。「丙」は「火の陽の性質」、「午」は「火の性質」とあり「エネルギーでパワフル」という意味があると言われています。「皆さんにとって活気ある年になることを願っています。」と話しました。

2 支援金贈呈式

1月8日(木)15時から矢部ホーム株式会社 代表取締役 矢部福德 様、株式会社ライムイシモト 代表取締役 石本潤治郎 様が来校され支援金贈呈式を開催いたしました。今回のご支援の経緯は「校長室から No12」に記載しています。

本校にとって、応援してくださる企業様がいることは大きな励みになり、もっと頑張ろう、やってみようと思努力を重ねる原動力になっています。

サッカーチームの生徒は今回のご支援や応援を力に変えて、夢の全国大会で最後まで全力プレイしてくれるものと思います。

